

				科目コード	106
科目名	助産診断・技術学 I (Midwifery Clinical Skills I)			選択区分	必修
単位数	1 単位	時間数	30 時間	学期	前期
担当教員	今村 朋子、井上 明子、伊藤 美香、山本 美由紀			区分	助産学実践領域
授業概要	本科目では妊娠期に焦点を当てて学習する。まず、助産診断・技術学 I～IVの導入としてマタニティサイクル全体を通じた助産診断枠組みと援助の基本を学んだ後、妊婦とその家族の事例展開を通して、助産師として妊婦健診や保健指導を自立して実施するために必要な基礎的能力を養う。妊娠期を、これからの出産・育児に向けた重要な準備期間として捉え、妊娠期を丁寧に過ごすための保健指導による関わりを中心とした事例の展開を行う。				
授業目標	1 マタニティサイクルの助産診断枠組みと援助の基本が理解できる。 2 妊娠期の診断と援助を行うための知識・技術を習得し、助産過程を展開することができる。				

授業内容

回	項目	内容	担当者
1. 助産・診断技術の基礎			
1	助産診断・助産技術学 スタート編	「お産とはなにか？助産とはなにか？」 主体的な学びと助産学生のゴールとは？	今村朋子
2～3	助産診断・助産技術とは？ 助産援助とは？	マタニティサイクルの助産診断類型と助産過程 助産診断と援助・技術の関係 助産援助の基本となる概念とアプローチ法	
4	女性のからだ理解のワーク	骨盤周辺の形態機能の特徴	
5	妊娠・分娩期の フィジカルイグザミネーション	【技術演習】母体と胎児の診察技術 腹部計測・レオポルド触診法・胎児心音聴取（トラウベ・ドップラー・胎児心拍モニタリング）	山本・伊藤 井上・今村
6	★6回は、5月分娩期に実施	【講義・演習】胎児の健康状態と陣痛の評価 分娩監視装置の装着と判読法	山本美由紀
2. 妊娠期の助産診断・技術			
7	事例展開① 妊娠初期：初診	妊娠の診断、予定日の確定診断 妊娠初期における妊婦の身体・心理的状态の理解	今村朋子
8～9	事例展開② 妊娠初期：助産院初診	基本情報の整理とリスク判定 妊婦健診スケジュールと社会制度	
10～11	事例展開③ 妊娠中期：24 週	妊娠中期の特徴に応じた健康診査と保健指導 妊婦健診の実際（デモスト） 【実践演習】保健指導の実践	今村朋子 井上明子
12～13	事例展開④ 妊娠末期：36 週	妊娠末期の特徴に応じた健康診査と保健指導 【実践演習】妊婦健診・保健指導の実践	
14	妊娠期の助産診断まとめ 効果的な保健指導とは？	36 週の診断結果のディスカッション 健康教育の理論、助産師が行う保健指導の特徴 セルフケアを促す保健指導の展開とは？	今村朋子
15	妊娠経過に基づく分娩予測と リスク診断	【実践演習】 妊婦健診 39 週の様々な事例演習	今村朋子 伊藤美香
成績評価 方法	筆記試験（25%）、実技試験（25%）、助産過程の展開（40%：助産診断・保健指導）、 授業に取り組む積極性（10%）とし、各評価ともに6割を合格の条件とする。		
教科書	共通シラバスのとおり		
参考図書等	・進 純郎、高木愛子「(ブラッシュアップ助産学)助産外来の健診技術」(医学書院) ・我部山キヨ子、大石時子「助産師のためのフィジカルイグザミネーション」(医学書院) ・鈴木由美「マタニティサイクルの実践保健指導(妊娠期)」(丸善プラネット)		
備考	※毎回、次の授業に向けた課題があり、実施してきた課題に沿って授業を行います。 ※14回の後、事例展開⑤として39週妊婦健診場面の実技試験を実施します。(今村・井上・伊藤・山本)		